

平成 29 年 度
(2 0 1 7 年 度)

施 政 方 針
[予 算 等 提 案 説 明]

高 崎 市

ただいま議題となりました平成29年度高崎市一般会計予算、各特別会計予算、並びに関係諸議案のご審議をいただくにあたり、市政運営について、所信の一端と予算の概要についてご説明を申し上げ、議員の皆様をはじめ市民の皆様に、格別のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

政府は平成29年度の経済財政運営に当たり、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、民需主導の持続的な経済成長と一億総活躍社会の着実な実現を図ってまいろうとしております。

本市におきましても、独自の各種ビジネス活性化施策により、地元企業を中心とした本市の経済活動を活性化させ税収基盤の強化を図り、福祉や教育、子育て支援などを充実させる考え方で取り組んでいるところでございます。

[本市予算の大要]

本市の平成29年度の一般会計予算でございますが、1,683億1千万円、前年度に比べ3.4パーセントの増いたしました。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた総額は、前年度比2.5パーセント増の2,756億7,309万2千円でございます。

予算編成にあたっての基本方針としましては、引き続き『徹底した事業費の削減』、『重点事業の積極的な推進』、『人件費の

『圧縮』を3つの柱に掲げ、限られた財源をいかに効率よく、いかに効果のある事業に配分していくかという視点を重視し、選択と集中による「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を展開していくことといたしました。

[歳入予算の概要]

それでは、歳入予算の概要について申し上げます。

財政運営の根幹をなす市税収入は、590億9,743万円、前年度と比べて1.5パーセントの増といたしました。

引き続き市内の経済状況が回復基調にあると感じているところでありまして、市民税個人は労働人口が増加傾向にあることから約1.6億円の増、市民税法人では、法人税率引き下げ等の影響があるものの約5.5億円の増、前年度比10.6パーセントの増と見込みました。

固定資産税は、引き続き一般住宅の新增築家屋が増加傾向にあることから約1.3億円の増を見込みました。

地方消費税交付金は、実績を勘案し前年度比11.1パーセント減の64億円といたしました。

地方交付税につきましては、合併算定替えの縮減および地方財政計画において減額が予定されていることから、普通交付税は7.3パーセント減の115億円に、特別交付税は前年同額の18億円といたしました。

繰入金では、財政調整基金から39億円、減債基金から7億円を繰入れるほか、地域振興基金5.1億円、都市集客施設等建設基金6億円などを事業に活用することといたしました。

市債につきましては、前年度比 23.6 パーセント増の 173 億 4,820 万円といたしました。

[歳出予算の概要]

続きまして、歳出予算の概要について、新規施策や主な事業を中心に、「新しい高崎」の基本政策に沿って申し上げます。

はじめに、『**教育と人づくり**』でございます。

本市の未来を担う子どもたちを健やかに、伸びやかに、個性豊かに育てるため、学校だけでなく地域社会と一体となって、子どもたちを守り、育てる環境を整えてまいります。

また、安心して子どもを産み育てるための支援も行ってまいります。さらに、さまざまな世代が、多様な可能性に満ちた生き方が保障されるよう努めてまいります。

具体的施策でございますが、小中学校の英語教育では、学力向上を図るため外国語指導助手を全小中学校 83 校に配置いたします。

また、児童生徒の学力向上を目指した取り組みを、地域や保護者と連携しながら継続して実施し、不登校対策では、スクールソーシャルワーカーを増員し、支援の更なる強化を図ってまいります。

学校施設につきましては、既存施設の維持補修を重点的に行ってまいります。さらに、箕輪小学校や高南中学校の校舎整備など、教育施設の環境整備を進めてまいります。

また、市内小学校の児童を対象に、昨年まで実施していた臨海学校に替わり、新たに榛名湖畔に整備した林間学校において自然体験活動を実施いたします。

他にも、創立60周年を迎える高崎経済大学では、新たに経済学部国際学科を開設するなど、幅広く本市の教育環境を整備してまいります。

次は、『**産業の振興**』でございます。

ますます激化する都市間競争に対応するためには、本市のもつ交通拠点性を最大限に活かした成長戦略が必要となります。

新しい高崎の実現に向けて、本市の企業が全国や世界を相手にした企業活動ができるようにしていきます。

また、新しいビジネスや産業をつくりだし、さまざまな業務が集積し、雇用を生み出し、多くの人々が集まる都市づくりに取り組んでまいります。

本市の産業振興への総合的な取り組みとして、高崎のブランド力を向上させるため効果的なシティプロモーションを拡大して実施してまいります。

農業の振興では、新品種や新商品の開発、普及宣伝活動および6次産業化、農商工連携に取り組む活動を、引き続き支援してまいります。

商工施策では、地元企業の支援策として「中小企業経営安定化助成」や、多くの方々にご利用いただいております、「まちな

か商店リニューアル助成」「住環境改善助成」に引き続き必要な予算を確保し、集客力の向上や商店街の活性化、市民生活の向上につなげてまいります。

ビジネス誘致施策では、都内のイベント会場において本市の産業、文化および観光等を広く発信してまいります。さらに、分譲が始まりましたスマートインターチェンジ周辺開発と併せて、ビジネス誘致施策を引き続き積極的に展開してまいります。

次は、『**文化と歴史を活かした創造的な高崎**』でございます。

芸術や文化は、市民生活や産業経済活動、地域社会のあり方に大きな影響をもたらすもので、本市が持続的に発展していくためには、文化と産業が相乗的な効果を発揮する取り組みが必要でございます。本市のもつ優れた芸術・文化スポーツ活動、歴史・文化遺産を活かした創造的な高崎を目指してまいります。

文化事業では、高崎音楽祭の事業を拡大して支援し、音楽でのまちづくりを推進いたします。

スポーツの振興では、浜川運動公園を拡張し、ソフトボール場とテニスコートの整備工事に着手いたします。

また、本市のスポーツ振興やPRに寄与する活動を行うスポーツチームを有する企業等に対して引き続き支援を行ってまいります。さらに、新たに高崎アリーナで開催予定の国際的な各種スポーツイベント等を支援し、市内スポーツの更なる振興を図ってまいります。

歴史を活かしたまちづくりでは、上野三碑こうずけさんびの「世界の記憶」登録へ向けた広報活動に継続して取り組みます。また、新たに榛名神社の本殿など、国の重要文化財建造物の修復を支援してまいります。

史跡の保存整備では、「北谷遺跡きたやつ」の公有地化と、「日高遺跡」「箕輪城跡みのわ」等の整備につきましても継続して実施してまいります。このほか重要遺跡調査として、多胡碑たごひ周辺遺跡と上野国分こうずけこくぶん尼寺跡にじあとの発掘調査も実施してまいります。

次は、『やさしい眼差しに満ちた市政』でございます。

子どもやお年寄り、障害のある人、仕事をしながら子育てをする皆さんが、安心して心豊かに暮らせる都市でなければなりません。経済や産業活動を発展させ、活力ある都市にしていくと同時に、支えが必要な人や守っていくべき人たちへの「やさしい眼差しに満ちた市政」を進めてまいります。市民一人ひとりが人間としての尊厳と、様々な生き方が保障される地域社会をつくってまいります。

本年4月に開設する多機能型住居内に、子どもから高齢者まで世代を超えて集い交流することができる、新たなコミュニティーを創出します。1階には「シルバーセンター田町」、2階には子育てに関する相談や支援の拠点となる「子育てなんでもセンター」、さらに7階から10階までの住宅スペースは、これからの高崎の福祉を担う介護士・保育士・看護師等を対象とした住宅としてまいります。

子育て支援対策といたしましては、「待機児童ゼロ」の継続に向け、定員増を目的とする私立保育所等の整備や、保育士確保に必要な人件費の補助を引き続き実施するとともに、病児・病後児保育および一時預かり保育の支援を拡充し、更に保育所および幼稚園等における「気になる子」への支援を継続し、保育環境の更なる充実を図ります。

こども発達支援センターでは、発達障害児に対する支援の更なる充実を図ってまいります。また、放課後児童クラブにつきましても、地域の実情にあわせてクラブを増設してまいります。

福祉の充実では、高齢者の増加や地域の実情に合わせ、昨年新たに設置いたしました高齢者あんしんセンターを更に増設するとともに、新たに高齢者が気軽に集まることができる居場所を確保する活動に対して支援を行います。

また、介護者の急用時に市内どこでもヘルパーが即時に対応し、24時間365日体制で介護者の負担軽減や介護離職の防止を図る、「介護SOSサービス事業」を継続して実施し、また、ひとり暮らし高齢者等の生活不安を解消するための「高齢者等あんしん見守りシステム」および、高齢者や障害者が行方不明時に早期発見するための救援システムの普及も引き続き促進してまいります。

救急医療体制の充実では、市内医療機関での24時間365日の小児救急医療体制の継続や、たらい回しゼロに向けた救急搬送患者の受入態勢の強化を支援する施策を引き続き実施してまいります。また、国立病院機構高崎総合医療センターの診療

機能を充実させるため新病棟整備に対し支援してまいります。

医薬品販売体制につきましても、市民の安心安全を充実させるため、夜間営業の薬局を引き続き運営し、市内における24時間365日の販売体制を継続いたします。

母子保健事業では、不妊・不育症治療に対する助成を継続し、小児難病対策では医療費や通院費用の一部を引き続き助成してまいります。

保健対策事業では、昨年10月から開始したB型肝炎の定期予防接種を実施いたします。

がん検診事業では、胃がん対策として従来のバリウム検診に加え、新たに内視鏡での検診を追加いたします。

また、新たな支援として地域の集団検診会場へ行くことが困難な70歳以上の高齢者に対し、タクシー代の一部を助成いたします。

次は、『**合併した地域の個性を活かした魅力づくり**』でございます。

合併により本市は、豊かな自然や観光資源を持つ都市になり、新しい貴重な産業を有することになりました。こうした合併地域のそれぞれの個性を大切にした地域振興策を推進してまいります。

倉淵地域では、旧川浦小学校の跡地に、小中学生が生きた英語に囲まれて山村留学ができる施設の整備および運営に向けた準備を進めてまいります。

榛名地域においては、好評をいただいております「榛名山ヒルクライム in 高崎」など、地域資源を活かしたイベントを開催いたします。

新町地域においては、新町駅のバリアフリー化を促進するため、駅構内の線路上を横断する連絡路に、エレベーターを設置するための詳細設計を実施いたします。

吉井地域においては、吉井中央公園(仮称)の整備と併せて、進入路の整備を引き続き行ってまいります。

また、倉淵、榛名、吉井地域への定住を促進するため、住宅新築等の際の利子補給を継続して実施いたします。

老朽化した道路など社会資本整備については、修繕や延命化が喫緊の課題ではありますが、29年度も引き続き従来予算に加えて、旧市と6支所の地域において、積極的・弾力的な対応が図れるような予算を計上いたしました。

次は、『**安心・安全な地域社会づくり**』でございます。

健全な地域社会をつくるためには、地域のことは地域で解決していく住民自治の確立が必要だと考えます。地域と住民の安心・安全を守り、皆で支え合う地域社会をつくっていくために、福祉・介護、生活環境、教育文化など幅広い分野での地域の活動を支援してまいります。

防災対策事業では、建築物の倒壊を防ぐため耐震化を促進してまいります。また、防災無線の未整備地域等において、新た

な情報放送システムを整備し、併せて地域の自主防災組織への支援を拡充してまいります。

防犯対策では、全市的な犯罪抑止とごみの適正排出を目的として、防犯カメラとごみステーション見守りカメラを更に増設いたします。

交通安全対策では、引き続き道路等の破損箇所を迅速に補修し、カーブミラーなどの安全施設も拡充整備してまいります。また、小学校周辺には、児童や歩行者の安全を守るためのグリーンベルトの設置を推進するとともに、車両の速度を抑えるための路面段差も増設してまいります。

高浜クリーンセンターの建替えにつきましては、34年度の供用開始を目指し、事業を推進してまいります。

里山再生・有害鳥獣対策では、ぐんま緑の県民基金を有効に活用し安全な里山環境等を整備してまいります。

次は、『**大勢の人が歩き、賑わう街**』でございます。

高崎のまちなかの都市基盤は整備されてきましたが、高崎の街の人出をもっと増やしていく必要があると考えております。街にいつも多くの人が歩き、賑わいがあり、元気いっぱいの街になるような仕組みをつくってまいります。

観光施策の拡充では、好評をいただいた、まちなかでの「高崎だるま市」を、規模を拡大して実施いたします。また、「高崎の食」を全国に発信するための各種施策を継続実施し、29年

度は4年に一度、大阪で行われる食博覧会への出展を予定しております。さらに、首都圏等で「高崎スイーツフェア」を引き続き開催し、「高崎ブランド」を全国に発信してまいります。

高崎駅周辺では、本年秋にオープン予定の高崎オーパ(仮称)での、高崎産の食や物産の販売を支援してまいります。さらに、西口には高崎オーパ(仮称)と、東口には高崎文化芸術センター(仮称)に接続するペDESTリアンデッキを整備し、併せて西口駅前広場を再整備することにより、中心市街地の回遊性の向上を図ります。また、高崎駅東口周辺では、市街地再開発事業を推進してまいります。

都市集客施設整備関連事業では、高崎文化芸術センター(仮称)の建設工事を継続するとともに、高崎アリーナ周辺地域を循環するシャトルバスの運行を4月から開始いたします。また、両施設での文化事業や国際大会の企画・誘致活動を引き続き実施いたします。

公園整備では、烏川の和田橋周辺の川岸を引き続き整備してまいります。

空き家対策では、老朽化した空き家の解体費用や地域住民が気軽に利用できるサロンとして活用する場合の改修費への助成などを引き続き実施いたします。

以上が一般会計の概要でございます。

[特別会計の概要]

次は、特別会計でございます。「国民健康保険事業特別会計」では医療の高度化や高齢化の進展などに対応した保険給付費を計上し、「介護保険特別会計」では、介護予防・生活支援サービス事業を拡充して計上しております。

そのほかの特別会計につきましては、事業の円滑な運営が行えるよう、それぞれ所要の経費を措置してございます。

次に、上下水道事業でございます。公営企業として健全な財政運営を行い、安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

水道事業につきましては、水需要の低迷による厳しい事業運営が続いておりますが、「良質な水道水の安定供給」のため、老朽管の耐震化や浄水施設の計画的な設備更新などを実施し、災害に強いライフラインの構築を進めてまいります。

下水道事業につきましては、「安全で快適な生活環境の確保」のため、引き続き各地域における汚水・雨水の管渠整備を実施するとともに、既設管渠及び各污水处理施設の適切な管理に努めてまいります。

[結 び]

以上、市政運営についての所信の一端と予算の大要についてご説明申し上げましたが、私は、高崎市が都市として、さらに成長し、発展していくことを願い、財政規律を堅持し、大胆でスピード感ある力強い市政運営に、積極的かつ全力で取り組ん

で行く所存でございます。

なお、予算の細部につきましては、財務部長から、その他の議案につきましては担当部長からそれぞれ説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。提案説明とさせていただきます。